

フェンシング部県制覇 (沖縄県高等学校総合体育大会)

5月27日(土)28日(日) 県総合運動公園サブアリーナにおいて沖縄県高等学校総合体育大会フェンシング競技が開催され、団体学校対抗戦で本校フェンシング部が優勝しました。

待ちに待った本県高校生のスポーツの祭典が5月26日(金)の総合開会式を皮切りに開催され、出場したフェンシング部3選手は上記日程を4連覇という偉業を携え最高の笑顔で凱旋しました。

キャプテンの藏元星弥君(3-5)はこの偉業に「うれしいです。団体戦4連覇をこの3人で達成することができてとてもうれしかったです。この優勝に満足することなく、これからの九州・全国大会に向けて良い成績が残せるよう、たくさん練習を積み頑張っていきたいです」と終始笑顔で答えてくれました。

宮城幸之介君(1-6)は「一人で頑張ってきた先輩のためにも優勝したかったので優勝できてよかったです」と、同じく一年生の山城翼君(1-4)も「九州大会や全国大会に行っても一生懸命頑張りたい」と力強く話してくれました。



一年生二人に、なぜフェンシング部に入ったのか、フェンシングの魅力は何かを聞いたところ「個人競技で素早い動きで相手と対峙し有効打突が決まった時に何とも言えない喜びが湧く」とし、想いを熱く語ってくれました。当初他の部活動に入部しようとしていた山城君は「宮城君に誘われて入部したが、現在はフェンシングの魅力にはまっています」とありました。

藏元君は入部3年目。同級生や下級生が退部していった中で、もがき苦しんでようやく自分のスタイルにたどり着き、さらに新規に入部した二人の下級生をも指導しながらのこの快挙、G高フェンシング部の伝統を守り抜きました。さらに個人戦では、自己目標であったフルーレ優勝をも勝ち取ることができました。

インタビューの終わりに「後輩が続いて良かったね」と話しかけたところ「本当にそう思います。僕の一番の心配事でした。それがかなって良かったです」と百万ドルの笑顔で話してくれました。

君がやってきたことは間違っではないなかった。これから一試合ごとに大切に。そして、さらに大きく成長するであろう君は他の高校生よりも九州・全国大会とちょっと長い夏を楽しんでください。